

## 1-6 エルトー Erto

エルトーの岩場はイタリア北部ドロメ山脈東部にほど近い所に位置する。岩場を紹介する前に知っておいてほしいことがある。エルトーの岩場は巨大なダムのすぐそばにある。1963年9月9日、岩場対岸にある山の斜面が突然崩れ落ち、その土砂がダムにすべり落ちた。当時満水状態だった水はその重みであふれかえり、ダムを乗り越え洪水となって下の街を襲い2000人以上が死んだのである。岩場の真上100mの所に小さな村があるが、そこまで水が襲ってきたのである(ちょっと信じられない)。その為この村をはじめ、近くのエルトーの村などは今でも当時の傷跡を残しており、多くの廃屋を見ることができる。岩場の前からは、崩れ落ちた山肌と土砂に埋もれて役目を果たさなくなったダム、そして慰霊碑を見ることができる。

岩質

石灰岩

ルート

高さは約25M。2ピッチのルートもある。エリアは1箇所だが右壁、中央壁、左壁と分けることができる。右壁、左壁は垂直から薄かぶり、中央壁はものすごいリング帯である。ルート数は約70本。6aから8b+まで。

この特徴はあまりかぶってないルートに多いのだが、ホールド、スタンスがつるつる(百万人スタンス)なので、恐くて慣れるまでは足がうまくおけないのだ。山崎岳彦ですら6c+で落ち、レットポイントで苦しんでいるほどだ。これに対してかぶった所はホールドはガバで、どちらかといったら持久力を試されるルートが多く面白い。その為ちょっと初心者にはきついかもしれない。またドリリングしたホールドもけっこうある。

宿泊

岩場の下に巨大な板が敷いてあり、そこで寝ている者もいたが近場にキャンプ場などは無い。その為、私たちは30kmも離れたTai Di Cadore(カドレ)の街はずれのキャンプ場に泊っていた。シャワーはあるのだが値段が高い(1日あたり車5000L, テント5000L, 1人6000L)。ホテルなどは観光地の為たくさんある。

シーズン

春と秋。1日中陽があたる為、晴れると暑い。しかし標高が高い為、曇るとかなり寒い。

ショッピング

カドレの街にはマーケットや銀行、レストランなどがある。

アプローチ

キャンプ場のあるカドレまでは、オーストリアのインスブルック方面から来る場合など、ドロメ山脈を超えてくる為かなり悪路の峠越えがある。アルコなどから来る場合はトロントから47号、50号、51号を経てLONGERONEの街で251号をエルトー方面へ(ダムが見える)。そして幾つかのヘアピンカーブをこえトンネルをぬけダムを過ぎると目の前に岩場が見える。アルコからは約4時間。

レスト

イタリアと言えばピザがイタリア北部はまずい。ここでは食べることを少し我慢して、せっかくドロメのふもとまで来ているのだからハイキングがよい。冬期オリンピックの会場になったコルチナダンパツォに程近い、ミズリーナ湖をへてドロメ山脈の東端にある有名なドライチンネが分かりやすい(カドレから約1時間)。このドライチンネを周るコースが5時間ほどで景色もすばらしくお進め。

95年夏 木村伸介